

I 平成 26 年度事業報告

1. 会議等

1) 総会

日時 平成 26 年 6 月 20 日 (金) 14 : 00~14 : 40

場所 新潟市歴史博物館「みなとぴあ」セミナー室 新潟県新潟市

議案審議

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告及び決算報告に関する件

第 2 号議案 平成 26 年度事業計画及び収支予算に関する件

第 3 号議案 会員の入会に関する件

第 4 号議案 役員の選任に関する件

報告事項 次期総会開催地について

講演会 「湊町新潟における博物館」

講師：伊東 祐之 新潟市歴史博物館 副館長

施設見学 新潟市歴史博物館「みなとぴあ」

視察研修 信濃川ウォーターシャトルにて新潟西港周辺視察

交流会 レストランぼるとカーブドッチ (みなとぴあ内)

2) 拡大役員会

日時 平成 26 年 11 月 13 日 (木) 11:00~12:00

場所 浜松町東京會館 東京都港区浜松町

3) 企画委員会

第 1 回企画委員会

日時 平成 26 年 6 月 4 日 (水) 14 : 30~16 : 30

場所 一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦

議題 1. 平成 26 年度総会について (平成 27 年度開催地発表)

2. 平成 28 年度総会開催地について

3. 新規事業及び 10 周年に向けての記念事業について

4. スキルアップ交流会の開催について

5. ホームページについて

6. 会報の発行について

7. 国土交通省港湾局への要望について

8. 次回企画委員会について

第 2 回企画委員会

日時 平成 26 年 10 月 7 日 (火) 14 : 30~16 : 30

場所 一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦

議題 1. 企画委員の交替について

2. 会報の発行について

3. 国土交通省港湾局への要望について

4. 10 周年記念事業について

5. 助成申請について

6. スキルアップ交流会について

7. 平成 26 年度及び 27 年度総会について

8. 次回企画委員会について

第3回企画委員会

- 日時 平成27年3月17日(火) 14:30~16:30
 場所 一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦
 議題 1. 平成26年度事業報告
 2. 平成27年度事業計画
 3. 平成28年度総会開催地
 4. その他

4) 助成事業審査委員会

- 日時 平成26年12月17日(火) 14:30~16:30
 場所 一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦

≪ 平成27年度助成事業審査委員会 ≫ 委員名簿 五十音順、敬称略)

- 飯沼 一雄 船の科学館 学芸部長 (企画委員)
 志澤 政勝 横浜みなと博物館 副館長 (企画委員長)
 小谷野 喜二 国土交通省港湾局 海洋・環境課 課長
 矢下 忠彦 公益社団法人日本港湾協会 専務理事 (委員長)

2. 助成事業について

1) 平成26年度助成事業について

4件の助成事業が実施された。

	館名	活動名	実施期間	助成金
1	(公財)帆船日本丸記念財団 横浜みなと博物館	横浜赤レンガ倉庫ペーパー クラフト製作	平成26年4月1日~ 平成27年3月31日	300千円
2	日本郵船歴史博物館	企画展『東洋汽船そのあしど り-創業・発展・合併-』	平成26年4月25日~ 平成26年7月27日	300千円
3	名古屋海洋博物館 南極観測船ふじ	第47回名古屋港港湾ゼミナ ール	平成26年9月11日	150千円
4	うみてらす14	うみてらす14 PR用パン フレット印刷	平成26年5月頃~ 平成27年3月	50千円
合計			4館	800千円



平成26年度実施事業
横浜みなと博物館



日本郵船歴史博物館



うみてらす14



名古屋海洋博物館

2) 平成 27 年度助成事業について

平成 26 年 10 月 9 日 正会員にメールにて助成事業募集、11 月 28 日締切り。
平成 26 年 12 月 17 日に開催された審査委員会で次の 3 件の助成が決定された。

	館名	活動名	実施期間	助成金
1	館山市立博物館分館 “渚の駅” たてやま	渚の教室	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 31 日	189 千円
2	日本郵船歴史博物館	企画展 谷井建三原画展(仮)	平成 27 年 3 月 21 日～ 平成 27 年 6 月 28 日	244 千円
3	名古屋海洋博物館 南極観測船ふじ	第 12 回南極教室	平成 27 年 8 月 22 日	167 千円
	合計		3 館	600 千円

3. 創立 10 周年記念事業

1) オリジナルクリアファイル全館一斉配布

6 月 18 日、19 日、加盟館にて各日 150 枚無料配布

2) 功労者表彰

11 月 13 日(木) シンポジウムに先立ち、横浜みなと博物館、名古屋海洋博物館、神戸海洋博物館、船の科学館の 4 館に記念の盾を贈呈した。

3) 記念シンポジウム テーマ「みなとの博物館のこれから」

日時 平成 26 年 11 月 13 日(木) 13:30 ~ 19:00

場所 浜松町東京會館 東京都港区浜松町

記念講演 「海運国日本の誕生」

徳川 恒孝 公益財団法人 徳川記念財団 理事長

パネルディスカッション

<パネラー>

河井 孝仁 東海大学 文学部情報メディア学科 教授

東 恵子 東海大学 海洋学部環境社会学科 教授

戸高 一成 大和ミュージアム 館長

志澤 政勝 横浜みなと博物館 副館長

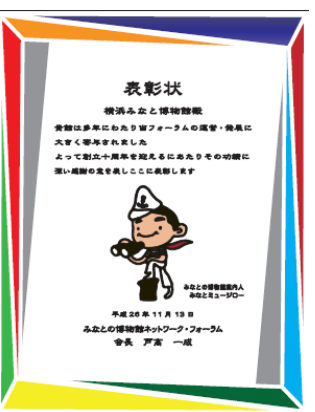
<コーディネーター>

橋間 元徳 一般社団法人ウーターフロント協会 専務理事
交流会

THE 10th ANNIVERSARY
みなとの博物館 ネットワーク・フォーラム
Port Museum Network Forum
<http://www.wmf.or.jp/partnet10/>



オリジナルクリアファイル



功労者表彰盾

4. 会報の発行

平成 26 年 9 月 5 日
会報第 10 号を発行。
(資料参照)

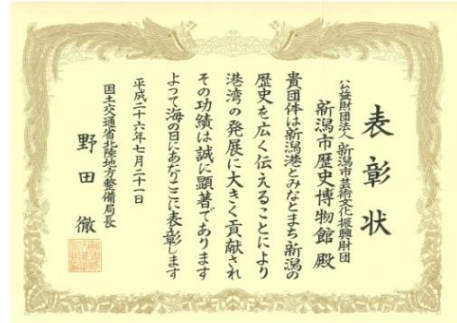


5. 表彰状の授与

名古屋海洋博物館及び新潟市歴史博物館は港湾功労者として海の日付でそれぞれ中部地方整備局長、北陸地方整備局長より表彰された。



表彰状 名古屋海洋博物館



新潟市歴史博物館

6. 国土交通省への要望

平成 26 年 9 月 9 日(火) 国土交通省港湾局長、海洋・環境課長に要望書を提出した。
＜要望内容＞

1. みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援の継続

みなとの博物館ネットワーク・フォーラムは、設立以来その目的であるみなとの博物館の振興を図るため、様々な活動を行って参りました。

この間ホームページを一新し、ロゴマークにかえて、ミュージローキャラクターを全面的に活用するなどの改訂を行ってきました。

また、平成 22 年よりメールマガジン「みなとの博物館情報」及びホームページにおいて「今月の逸品」「新着資料紹介」など新たな事業も開始しました。

さらに昨年「いま、みなとの博物館を考える」というテーマで、初めてシンポジウムを開催し、新しい形の情報交換が出来ました。今年は創立 10 周年記念シンポジウムを開催し、フォーラム活動の更なる展開を計画しています。主たる事業である助成事業、スキルアップ交流会は高く評価されています。

しかし、いずれの博物館も経営環境は厳しく、当ネットワーク・フォーラムの運営も大変難しい状況です。

つきましては、このことを十分理解され、今後ともご支援を賜りますよう、特段のご指導をお願い致します。

7. ホームページについて

平成 23 年 10 月のホームページリニューアルと共にスタートした「今月の逸品」は 6 月で加盟館 32 館全てを掲載した。

そして 10 月より新たな企画として「新着資料紹介」がスタートした。

みなとの博物館 ネットワーク・フォーラム
Port Museum Network Forum

お問合わせ プライバシーポリシー リンク集

みなとミュージアロブログ

【新着資料紹介】のコーナー 第4回「横浜みなと博物館」
2014年10月17日

今回、新着資料としてご紹介するのは、横浜みなと博物館の鉄螺旋杭(スクリーパイル)の動画です。

CALENDAR 2014年10月の月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

SEARCH

ENTRY

- 【新着資料紹介】のコーナー 第4回「横浜みなと博物館」
- 創立10周年記念シンポジウムのご案内
- 【新着資料紹介】のコーナー

【今月の逸品】

- vol. 30 南島原市口之津歴史民俗資料館 (平成 26 年 4 月)
旧長崎税関口之津支署庁舎
- vol. 31 館山市立博物館分館 (平成 26 年 5 月)
房総半島の漁撈用具、万祝
- vol. 32 東京海洋大学明治丸海事ミュージアム (平成 26 年 6 月)
重要文化財明治丸と百周年記念資料館ならびに第 1・第 2 観測台

【新着資料紹介】

- 第 1 回「東京みなと館」 (平成 26 年 7 月)
DVD「勝鬨橋 (昭和 15 年 6 月 14 日開通)」「液化化のメカニズムと東京港における取組」、船舶模型
- 第 2 回「船の科学館」 (平成 26 年 8 月)
タッチできる「尖閣諸島」模型 (縮尺 1/10,000) と「沖ノ鳥島」模型 (縮尺 1/7,000)
- 第 3 回「日本郵船歴史博物館」 (平成 26 年 9 月)
靱山艦船模型製作所の手になる氷川丸の模型
- 第 4 回「横浜みなと博物館」 (平成 26 年 10 月)
鉄螺旋杭(スクリーパイル)の動画
- 第 5 回 フェルケール博物館 (平成 26 年 11 月)
フォグホーン (霧中号角)
- 第 6 回 名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ (平成 26 年 12 月)
写真パネル (ふじとペンギン)
- 第 7 回 神戸海洋博物館 (平成 27 年 1 月)
赤い橋
- 第 8 回 大和ミュージアム (平成 27 年 2 月)
ワトキン傾斜計

8. スキルアップ交流会

日 時：平成 26 年 12 月 11 日（木）～12 日（金）

場 所：沖縄海洋文化館及び周辺施設

参 加：6 館 8 名参加

補 助：片道交通費

研修内容：沖縄海洋文化館及び周辺施設を見学

- ・美ら海水族館
 - ・熱帯ドリームセンター
 - ・首里城
 - ・沖縄県立博物館・美術館
 - ・那覇クルーズターミナル
 - ・対馬丸記念館
- 意見交換会及び交流会

9. 「博物館情報」の配信

平成 22 年 9 月より配信。

正会員のほか、メールアドレスを登録している会員、ウォーターフロント協会会員、国土交通省各港湾事務所等約 800 ヶ所に配信している。

